

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年11月18日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年11月18日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【発電所構内の絶縁油貯蔵タンクエリアにおける電気絶縁油(低濃度のPCBを含む)の漏えいについて】 発電所構内の絶縁油貯蔵タンクエリア(Dタンクエリア西側)において、当社社員が電気絶縁油(以下「絶縁油」)を絶縁油貯蔵タンク(以下「タンク」)へ移送中、タンクの気抜き管から絶縁油が漏えいしていることを確認。 漏えい発見時、漏えいが継続していたため、直ちに漏えいしていた気抜き管へ袋受けを設置。 また、漏えいが発生したタンクに保管していた絶縁油については、隣接する別のタンクに移送し、漏えいが停止したことを確認。 漏えいした絶縁油は、タンクエリアの堰内にとどまっており、外部への流出はない。 双葉消防本部は危険物漏えい事象と判断。 堰内に漏えいした絶縁油については、油吸着マットにより回収を行い、適切に保管を行うとともに(回収・保管済み)、低濃度のPCB(※)が含まれていることから、今後、処分方法を検討し、適切に処分を行う予定。 今後、絶縁油が漏えいした原因を調査し、再発防止対策を講じる予定。 ※ PCB:ポリ塩化ビフェニル	GⅢ	11月13日